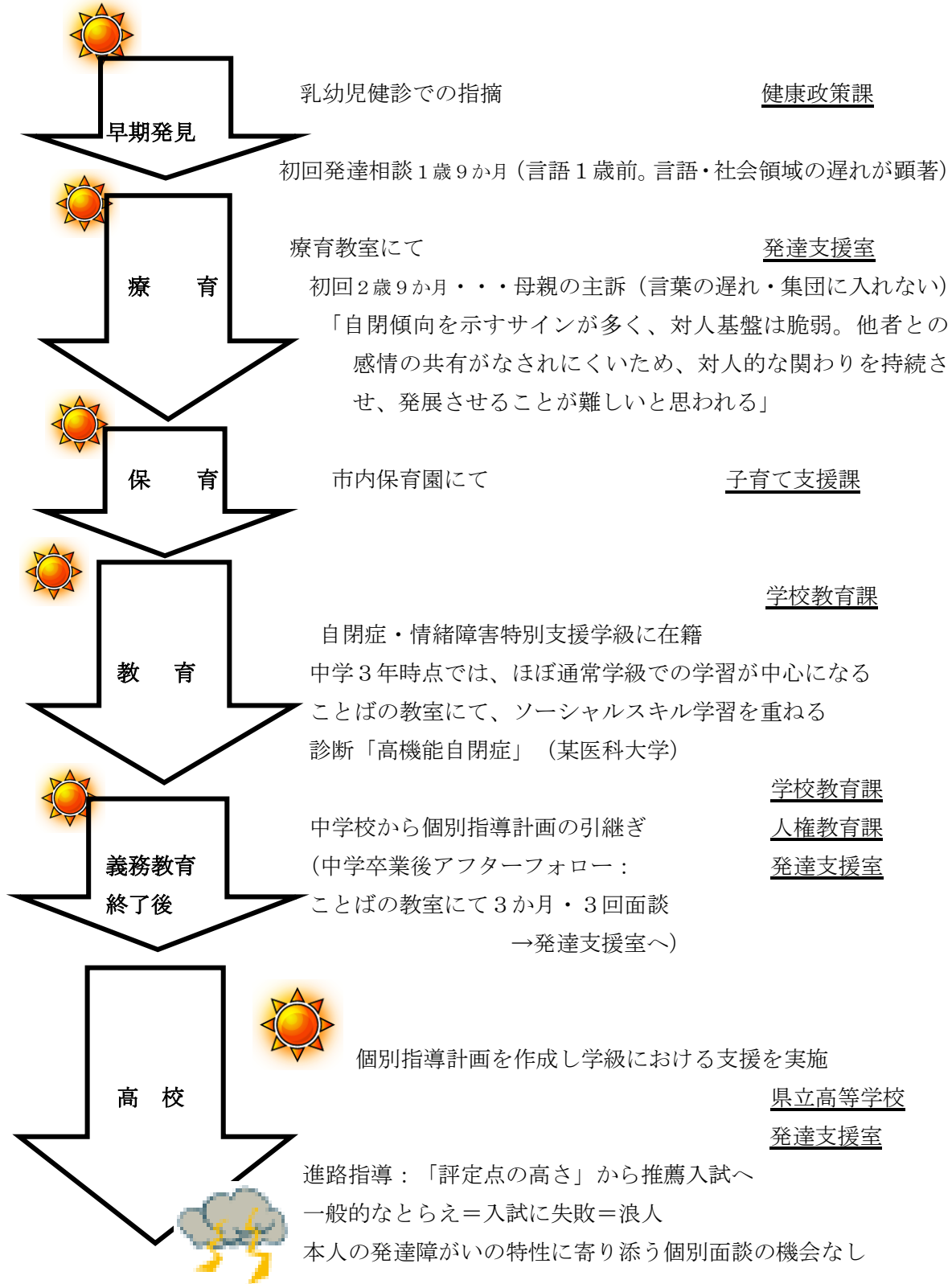


継続事例 平成生まれ

●●●・・・は関係課・機関名



## H22・4・1 本人の状況・・・自尊感情の著しい低下

「ぼくは生まれてこなかったほうがよかったんです。ぼくは弟に殺されてしまいます」

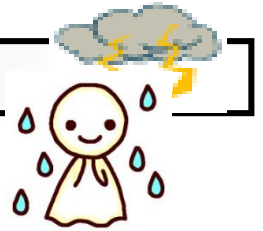
### 支援を仕切り直し

ケース会議の開催：発達支援室

障がい者雇用・生活支援センター

滋賀県障害者職業センター

「本人が自分の特性を知ることから始めよう！」



### 発達支援室と雇用・生活支援センター（甲賀）による 継続的支援の開始

室とセンターでの面談では・・・

●「ぼくは死にたいんです。」

●「ぼくへの評価なんてみんな嘘なんです。」

●「ぼくは家にいると殺されそうになります。」

●「障がい者って思われたくないんです。」



#### ●滋賀県障害者職業センターでの準備支援(H22/5/17～8/6)

「ぼくに何でもそんなことを聞くのですか?」「自分はダメな人間だから、働くなって言ってほしかった」「ここに来たので障がい者扱いになった。しんどい」

#### ●ハローワーク甲賀での求職登録(H22/5/13)

待ち合わせ場所に姿なく、悪いのは支援者（指差し）

#### ●ハローワーク大津にて体験実習(H22/7/12～16)

「ぼくにお茶なんか出さないでください」

#### ●滋賀県障害者雇用支援センターでの実習(H22/9～7日間)

「死にたいんだ。実習に行こうか迷っている」

「インターネットで見たらぼくのような障がい者は100人に1人」

「センターに行っても自分の答えは見つからないんだ」

「(評価を見て) いいことばかり書いてあったから嬉しかった。暗い気持ちを受け容れてもらえる場所があってよかった。」

#### ●医療受診

「(発達支援室同行) 悩みすぎることを相談してみよう」

#### ●ジョブガイダンス参加(H22/12/4～4日間)

「(高評を受けたが) ぼくは(終了証書) 受け取るに値しない人間なんだ」

#### ●作業所実習(H23/2/7～21)

「出来具合はいいと言われています。人と話せないことが困る点だと思います。昼食を大勢で食べるのは嫌なんです。休み時間に私情について話すのも失礼だと思いますし。過大評価すぎます。」

#### ●ジョブガイダンス参加(H23/2/28・3/23)

#### ●某市図書館臨時職員採用面接(独自)(H23/3/3)不採用

#### ●某市役所臨時職員採用面接(H23/4/22)不採用

「やはり、もう少し実習に行った方がいいんですかね。」

「(精神保健福祉) 手帳は持つと頼りっきりになるから持ちません」

**転機！**

**企業にて実習(H23/5/24～6/6) ←5/31で終了  
実習先で、働いている人を侮辱する発言。反省会の実施。**

- 「働くための目的」「自分のうまくいきにくさを他人のせいにはしない」「支援して下さる方の話を聞く」といったことを今一度、面談を重ね、もう一度実習に挑戦しよう！

**転機！**

**作業所実習(H23/8/3～8/5)**

- 本人に対する評価：手先の器用さ。時間を守って通える。一方で、話をしてもよい場面とそうでない場面の振り分けの難しさ。→作業所利用は本人の意思確認が大事。→本人「継続して利用することについては50%。」(ケース会議当初)→就労には、「休まず通所」「職場でのあいさつ等、働くために必要な力を身につける」「仕事を見つける」「働く」という段階を踏む必要があるという話を聞いて→「母に弁当を作ってもらうことが負担になっているのではないか・・・」という本人の心配していたことが伝えられ、その場で解消。→「(利用することについて)お願いします」

室とセンターでの面談での話の変化！！

- 入室時のあいさつに変化あり。

- 「順調です。」

- 「自分としてはいい感じでやっています。」

- 相談相手の話「確かにそうかもしれない。」



- 作業所にて実習継続(H23/9/1～)

社会福祉課障がい者自立支援担当もケース会議に

- 医療受診(H23/9/5)

精神保健福祉手帳についての相談をした。

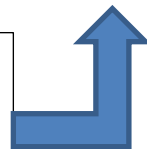
後日、Dr. の意見書(本人には見せていない)を元に「時と場合によっては支援が必要である」という自己理解が進んだ。

- 作業所利用開始(H23/10/1～)

「同級生を見て、仕事を探すことに必死だった。そのストレスが焦りにつながっていた。仕事を探す前の段階にいたことがはっきりわかって落ち着いた。」習い事(茶道)も始めた。

「バザー」「リモデルフェア」等での接客でも活躍。

湖南市障がい者就労情報センターのバックアップ。(企業からの作業外注。イベント受入情報。施設外就労情報等)



H24/1月「ずっと、作業所にいるわけにもいかないことはわかって ます。仕事をしたいなって思いもこみ上げてきます。でも、次のステージに行くのはもう少し、先のことかな・・・。」  
H24/6月：A社から求人有り。「ぼくが受けてもいいのでしょうか・・・」＝前向きに検討。